

上尾中央総合病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記のお問合せ先にご連絡下さい。

課題名	ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術後の尿禁制獲得に影響する予測因子、特に膜様部尿道長に関する検討
受付番号	659
当院の研究責任者(所属)	田畑 龍治(泌尿器科)
研究協力者(所属)	篠原 正尚、藤森 大志、木田 智、篠崎 哲男、川島 洋平、小川 一栄、 福田 護、藤田 喜一郎、佐藤 聡(泌尿器科) 加藤 裕二(かとう泌尿器科クリニック)
研究期間	2019年3月29日～2019年4月30日
調査データ対象期間	2013年1月1日～2017年8月31日
本研究の目的	微細な操作が可能なロボット支援腹腔鏡下手術でも、前立腺癌手術後の尿失禁は患者の生活の質を損ねる重要な合併症である。術後尿禁制の予測因子として、MRI(magnetic resonance imaging)画像で計測される膜様部尿道長(Membranous urethral length: MUL)が近年注目されるが、膜様部尿道と前立腺・球部尿道の境界は不明瞭であるため、それを克服する最小残存膜様部尿道長(minimal residual MUL: mRUL)の有用性がSatakeら(Urology 2018; 112: 138-144)により報告されるため、それらを術後尿禁制の予測因子を検討した。
対象となる患者さん	ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術を受けた患者さん。
利用する試料・情報	MRI画像
試料・情報の他の研究機関への提供の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り
個人情報の保護に関する情報	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源(利益相反)	<input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り
倫理審査等の経過	第208回 上尾中央総合病院倫理委員会にて承認
公開日	2019年4月5日
オプトアウト期間	<input checked="" type="checkbox"/> 公開日から1か月 <input type="checkbox"/> 当該疾患の当院受診日から6か月
お問合せ先	電話番号 048-773-1111(代表) 上尾中央総合病院 クリニカルリサーチセンター 情報管理部・組織管理課 又は 薬剤部・治験管理科